

令和4年度シラバス

言語聴覚士科

神戸総合医療専門学校

科目名		授業形態	担当教員名	
聴覚検査学Ⅱ		講義・演習	田中 義之	
時間数（単位数）		授業回数	年次	開講時期
30 時間（1 単位）		15 回	2 年次	前期
授業の目的・概要				
聴覚系の検査について演習を交えて講義する。				
授業の到達目標				
聴性脳幹反応検査、インピーダンスオージオメトリ、自記オージオメトリ、閾値上聴力検査について検査手技および結果の読み取りについて修得する。				
授業計画				
回	内容			
1	ABR講義(脳波とABR基礎を知る)			
2	ABR講義(脳波とABR基礎を知る)			
3	インピーダンスオージオメトリ①(ティンパノメトリ)			
4	インピーダンスオージオメトリ②(ティンパノメトリ)			
5	インピーダンスオージオメトリ③(ティンパノメトリ)			
6	インピーダンスオージオメトリ④(音響性耳小骨筋反射)			
7	インピーダンスオージオメトリ⑤(音響性耳小骨筋反射)			
8	インピーダンスオージオメトリ⑥(音響性耳小骨筋反射)			
9	自記オージオメトリ①			
10	自記オージオメトリ②			
11	閾値上聴力検査①			
12	閾値上聴力検査②			
13	マスキング①			
14	マスキング②			
15	マスキング③			
成績の評価法と基準				
種別	割合	評価基準・その他備考		
定期試験	80%	筆記試験		
レポート	20%	ABR(レポート)		
小テスト				
平常点				
その他				
自由記載	筆記試験については定期試験期間中に合わせて実施する			
教科書				
書名	著者・編集者名	出版社名		
聴覚検査の実際 改訂4版	日本聴覚医学会 編	南山堂		
聴力検査の行う人のための図解 実用マスキングの手引き第4版増補	服部浩	中山書店		
標準言語聴覚障害学 聴覚障害学 第3版	中村公江 他編	医学書院		
自由記載	必要に応じて資料を配布する。			
参考文献				
書名	著者・編集者名	出版社名		
自由記載				
備考				